



特集

歴史と文化が彩る 福岡 魅惑の名園へ

豊かな自然や風土とともに
育まれてきた、日本庭園。

福岡県には、室町時代の

画僧雪舟がそしゅうゆかりの庭園や、

繁栄を極めた炭鋳王による近代庭園など、
さまざまな魅力ある名園が点在します。

独特の美意識と芸術性あふれる癒しの
空間へ出掛けてみませんか。



名勝

旧藏内氏 庭園

明治後期～昭和初期

小さいながらも
世界観のある
中庭



名勝

清水寺 本坊庭園

「室町時代」

本坊の
佇まいも
趣がある



5/庭園側からの眺めもまた違った美しさ 6/よく見ると金具の部分やガラス製のシェードにも透かしの家紋が入ったオリジナルの照明
7/さまざまな技法を取り入れた中庭も見応えがある 8/旧藏内氏庭園の魅力を案内してくれた築上町教育委員会の高尾栄市さん

1.2/本坊からさらに奥へ進むと現れる、本堂や三重ノ塔まで足を伸ばしてみるのもおすすめ 3/本坊の表にある美しいコケもまた、風情がある
4/本坊の縁側に座り庭園を眺めていると、いつの間にか「無」の心になっていることに気付く

煎茶の文化を取り入れた、施主のもてなしを感じる庭園

英彦山系の山々、周防灘の海と、自然に囲まれた閑静な風景が広がる築上町に、明治から昭和にかけて、炭鉱や錫、金などの鉱山経営で繁栄を極めた藏内氏の庭園があります。

実業家としての接客の場、もてなしの空間として造営された広大な庭園は、明治39年に主屋とともに完成しました。

旧藏内氏庭園の見どころは、大きな園池を中心に、二連の反橋、奥に造られた石組の枯滝にあります。当初は、これらが一番美しく観賞できる場所に、応接間を造り、来客をもてなしていました。

会社の繁栄に伴い、大きな接客施設が必要となり、建物を大増築。大勢をもてなせる大広間や煎茶の嗜みもあることから茶室も増築しました。その際に大切にされたのが、やはり庭の眺め。大広間からは山並みを借景に庭全体が見渡せ、庭にせり出した茶室は池を近くに感じるなど、部屋ごとに多彩な景色を楽しめるよう工夫されています。「どの部屋も床の間の前に座ったところからの眺めが絶景であるように設計されており、施主の好みも見えてきます」と見どころを語る高尾さん。

庭園をはじめ建物の細部にまでこだわった、藏内氏のもてなしの思いを堪能できます。

豊かな自然と一つになった、心癒される名園

みやま市東部に位置する、清水山。その中腹にある清水寺は天台宗の開祖、伝教大師（最澄）によって開かれた古刹です。

画僧雪舟によって造園されたと伝わる本坊庭園は、山水画の世界を表わしたような自然の風景を巧みに取り入れた庭園です。正面の愛宕山と左右の山を借景に取り入れた美しさに加え、庭園の中央に「心」の字を模した池を配置し、2カ所の滝から流れる水が池に注がれています。この滝の流れの醸し出す水の音の響きは、この庭園に静寂と安らぎを感じさせてくれます。

春の桜、初夏の新緑、秋の紅葉と一年を通じて楽しみは尽きませんが、住職の鍋島隆啓さんは何よりその魅力を、「観る人の心を癒すこと」と語ります。

五感をフルに生かし、流れる水音や野鳥の声に耳を澄ませます。すると風景の見え方も変わり、庭の方から語り掛けてくる、と。

「この庭を見て自然の素晴らしさを感じたら、それは自分も素晴らしい存在であると気付いているのです。なぜなら人も自然の一部。ここはそんな生きる力を取り戻す場所なのです」。

心静かに眺めていたい。自然と一体となったこの庭は、きつとさまざまなことを教えてくれるでしょう。

【住所】築上町上深野396 ☎/ファクス0930-52-2530 【開館時間】9時30分～16時30分(入館16時まで)
【休館】水曜(祝日を除く)、年末年始 【入館料】大人300円、小中学生100円

【住所】みやま市瀬高町本吉1119-1 ☎0944(62)2001 ファクス0944(62)2080
【拝観時間】9時～17時 【休観】月曜(祝日、11月を除く)、毎月18日
【庭園保存費】大人300円、小中学生100円



きゅうかめいしぼうていえん
名勝 旧亀石坊庭園
 霊峰英彦山に残る名園
 修験道坊舎の庭園。洗練された石組と配石が特徴的な室町時代を代表する庭園の一つ。画僧雪舟の作庭と伝わる。
 [開園時間] 9時頃～16時30分頃
 [休園] 無休
 [入園料] 無料
 [住所] 添田町英彦山1346
 ☎0947-82-5964/
 ファクス0947-82-2869(添田町役場)

他にもある
 国名勝指定の
 名園

他にも県内には5つの
 名勝庭園があり、それ
 ぞれに個性のある趣を
 楽しむことができます。



ふじえしぎょらくえん
名勝 藤江氏魚樂園
 画僧雪舟が描いた理想郷
 園名には平和への願いが込められている。仏教の宇宙観に基づき、庭石の一つ一つが仏を表している。
 [開園時間] 9時～16時
 [休園] 月曜・第3火曜
 [入園料] 300円
 [住所] 川崎町安真木6388
 ☎/ファクス0947-72-7777
 ※庭園内には立ち入りできません



すいきょうやながわ
名勝 水郷柳河
 北原白秋ゆかりの水景
 詩人・北原白秋の詩情を育み、作品の源泉となった水郷柳河の優れた風致景観が国の名勝に指定された。
 [住所] 柳川市内城下町地区
 ☎0944-77-8832(柳川市役所)/
 ファクス0944-74-2707



としましえていえん
名勝 戸島氏庭園
 掘割の水を生かした庭
 柳川城堀の水を引き入れた池泉観賞式庭園。柳川藩士の隠宅として建てられた数寄屋風の建物とともに雅な空間をつくる。
 [開園時間] 9時～17時(入館16時30分まで)
 [休園] 火曜・年末年始
 [入園料] 100円
 [住所] 柳川市鬼童町49-3
 ☎/ファクス0944-73-9587



たちばなしえていえん
名勝 立花氏庭園
 旧柳川藩主の歴史遺産
 仙台の松島を模したといわれる「松濤園」をはじめ、洋風の西洋館前庭など敷地内には趣が異なる庭園が広がる。
 [開園時間] 9時～18時
 [休園] 無休
 [入園料] 500円(立花家史料館入館料を含む)
 [住所] 柳川市新外町1
 ☎0944-73-2189/
 ファクス0944-74-0872



名勝
**旧伊藤
 傳右工門氏
 庭園**
 「明治後期～昭和初期」

2階の居室からの
 眺めも素晴らしい



9/松の根元には何も植えずにすっきりとすることで広々と開放的に見える 10/平らなのに中央が下がって見える特殊な矢羽天井 11/美しい蝶が描かれた天袋 12/白蓮の居室(2階)からは庭全体が一望できる 13/「現代ではこれほどの邸宅の建築は難しいでしょうね」と、飯塚市教育委員会の毛利哲久さん

福岡県の庭園



まんどころぼうていえん
政所坊庭園
 [開園時間] 9時頃～17時頃
 [休園] 無休 ※行事法要の際は拝観できない場合あり
 [入園料] 無料
 [住所] 添田町英彦山1346
 ☎0947-82-5964/
 ファクス0947-82-2869(添田町役場)



もりたさしゅうきゅうきよ
守田蓑洲旧居
 [開館] 土・日曜、祝日
 10時～17時(入館16時30分)
 [入館料] 無料
 [住所] 行橋市菅尾181
 ☎0930-25-1111/
 ファクス0930-25-0299(行橋市役所)



きゅうたけうちけいじゅうたく
旧竹内家住宅
 [開館] 金・土・日曜 11時～15時頃
 [入館料] 事前に食事の予約が必要
 [住所] 築上町大字伝法寺587
 ☎080-1760-3633
 (古民家食庵 伝法寺庄)



ゆうせんていこうえん
友泉亭公園
 福岡藩6代藩主、黒田継高の別邸屋敷内の池泉回遊式庭園。礎石や灯籠、シイ、マキなどの古木、大木が残る。回廊を持つ17.5畳の大広間から庭園を眺めると静かな空間の広がりを感じることができる。
 [開園時間] 9時～17時頃
 [休園] 月曜(祝日の場合翌日)年末年始
 [入園料] 大人200円、中学生以下100円
 [住所] 福岡市城南區友泉亭1-46 ☎/ファクス092-711-0415

広大な庭園に込められた白蓮への心遣い

かつては、長崎街道の宿場町として栄えた飯塚市で、明治に入り筑豊の炭鉱王としてその名をはせた伊藤傳右工門。面積約7570平方メートルの広大な敷地に、歩きながらさまざまな景色が楽しめる池泉回遊式の庭園を伴う本邸を造営しました。美しい芝庭が広がる園内には、四阿もあり、個人の邸宅とは思えないほどの豪華さです。

本座敷からは、京風にすっきりと剪定された松をポイントに、石灯籠、太鼓橋など変化に富んだ景色が見事で、美しい芝生と一体となった庭園美を楽しむことができます。「主屋から眺める庭の景色はもちろんです。庭から眺める庭園と建物のバランスの良さも名勝に指定される要素の一つとなっています」と庭園の見どころを語る毛利さん。

傳右工門が、この贅を尽くした庭園を造るきっかけとなったのは、歌人・白蓮として知られる柳原燐子との結婚です。嫁入りした白蓮のため建物も増改築、二階にある白蓮の居室は、庭が一番美しく見えるようにと特別に造られたといわれています。

京都から職人を呼び寄せ作らせたという居室には、襖や天袋など、女性らしく優しい詠えが随所に施され、傳右工門の白蓮への思いが伝わってくるよう。庭園だけでなく、見応えのある建物にも注目です。

きゅういとうでんえもんしえていえん
旧伊藤傳右工門氏庭園
 [住所] 飯塚市幸袋300 ☎/ファクス0948-22-9700 [開館時間] 9時30分～17時(入館16時30分まで)
 [休館] 水曜(祝日を除く)、年末年始 [入館料] 大人300円、小中学生100円